

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第5回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）令和2年度地域活動支援事業（追加募集分）の採択結果について（公開）

（2）三郷区の地域課題について（フリートーク）（公開）

3 開催日時

令和2年10月14日（水） 午後6時25分から午後7時50分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）
市村 学、伊藤光夫、小山和美、荻戸 正、平田 清、平田伸一、
山口典夫、吉田一彦、渡部弘美（欠席者なし）

- ・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、田中主任

8 発言の内容

【田中主任】

- ・12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

【竹内会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：渡部委員、市村委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料により説明

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 一次第3報告（1）令和2年度地域活動支援事業（追加募集分）の採択結果について —

【竹内会長】

次第3報告（1）令和2年度地域活動支援事業（追加募集分）の採択結果について、事務局に説明を求める。

【田中主任】

- ・資料No.1により説明

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 一次第4議題（1）三郷区の地域課題について —

【竹内会長】

次に、次第4議題（1）三郷区の地域課題についてに入る。

前回の会議で、三郷区の課題の抽出方法については、正副会長で整理し、委員の皆さんにお示しすることとしていた。本日はまず、3グループに分かれて三郷区の地域課題についてフリートークを行いたいと思う。今期新しく委員になった皆さんも、前期から引き続き委員になった皆さんも、何かしら思いがあって地域協議会委員になったかと思う。会議の場ではなかなか発言しづらい委員もいるかもしれないので、グループでのフリートークの形とした。本日グループで話し合ってもらった内容は、三郷区の課題だと思うこと、地域の課題を抽出するために地域協議会で行いたいことである。本日出された意見は、正副会長と事務局でまとめて、次回以降の

会議で皆さんにお示しし、協議を進めたいと思う。

ただいまの説明のとおり進めることでよいかを諮り、委員の了承を得る。

資料について事務局より説明を求める。

【田中主任】

・当日配布資料No.1、No.2により説明

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

今期は8人が新しい委員だが、前期でどのような話をしてきたのか、またその結果がどうなったのか、そういった資料はないのか。

【田中主任】

今年度の第3回会議で、三郷区地域協議会第3期の4年間の活動報告について資料を配布した。その資料に前期の委員が行った自主的審議事項や意見交換、視察等について記載している。

【竹内会長】

ではグループに分かれて、フリートークを開始する。

— 3グループごとにフリートーク（40分間） —

【竹内会長】

それでは、フリートークで出た意見を各班5分程度で発表してもらおう。どの班も活発に意見が出ていたと思う。A班の発表を求める。

【保坂副会長】

A班では、まず地域の消防団・消防部の関係で、次に入ってくれる人がいないため困っているとの話が出た。ただ、これについては、昨年度市から消防団の再編について、話し合いをするようにとの依頼があり、話し合った結果、三郷区は現状維持と回答したとのことである。課題ではあるが、ひとまずそういう状況であると把握した。また、高齢者の関係では、ほ場整備で田んぼが広くなり、のり面や農道の

草取りが困難になっているという意見が出た。そして、同じく高齢者の関係で毎日の買い物に困っている人達が多いのではないかと、という意見も出た。ほかには、三郷区を通過する車の交通マナーが悪い。横断する子どもたちがいてもなかなか止まってくれず、子どもたちも大変困っており、危ないという問題もあがった。また、前期でも話が出ていた人口減少の問題、高齢化の問題があるが、三郷区だけの問題ではなく、非常に難しいという話が出た。最後に、長者町の信号から桜町方面へ向かっていく途中の一部の歩道が自転車の通れない区間であるため、そこにきちんとした幅の歩道ができて自転車も通れるようになると中学生や高校生が安全に通えるので、整備されるといいとの意見が出た。また、地域協議会で行いたいことについては、20代や高校生の人たち、この三郷区をどのように考えているか、どういうふうによくしていこうと思っているか、その辺をざっくりばらんに話をしてみたい。ただし、話し合いのテーマを検討しないと話しづらいと思うので、その辺は工夫してやっていきたいという意見が出た。高齢者の買い物支援については、実態把握をしてはどうかとの意見が出た。

【竹内会長】

B班の発表を行う。B班でも、やはり三郷区の高齢化、人口減少が進んでいるという意見が出た。それを解決するのは全国的な問題であり、なかなか出口が見えない難しい問題ではあるが、一応その認識を持って、人口についていろいろ考えていかななくてはならないと思う。また、農業を行う人の高齢化と担い手が少なくなってきたという課題が出た。三郷区に暮らすということは、先祖伝来の農地を守ることにもなるわけだが、農業ができなくなると三郷区に住む意味がなくなってしまうとすら思いがちなこともあるので、三郷区の農業問題に真剣に取り組んでいかななくてはならないと思う。私自身、地域協議会の他に市の農業委員にも携わっているので、少し心痛い意見も出た。いずれしても農業法人など、いろいろと立ち上がってはいるが、三郷区の農業をもう少し頑張っていきたいというところである。空き家が増えてきている状況もあるので、そういったものも利用しながら、農業体験施設などの形で発信できればいい。市内に就職するところがあるにはあるが、なかなか定着できないという状況もあるので、その辺も支援しながら頑張っていけれ

ばいいと思う。また、通学路が非常に狭いという意見も出た。地域活動支援事業でグリーンラインが引かれたエリアもあるが、なかなか交通安全面に関して、まだまだ行き届いてないところもあるので、その辺も発信していかなければならないと思う。歩道の整備や外灯は地域活動支援事業の中で整備されている事例もあるが、枝道に入るとまだまだ暗い箇所がたくさんあるので、そういうところも考えていかななくてはいけない。市に対して、町内会長連絡協議会などからも要望しているが、なかなか整備されないというのが実態かと思う。他に、農業のほ場整備に伴って、三郷区のブランド的な米の立ち上げやそれを基にしたIターン・Uターンの受け入れ場などが、うまく絡んでいけばいいという意見も出た。いずれにしても、三郷区の主である農業を基にして、もっと三郷区が栄えていくことができるといえるところである。また、地域協議会として行いたいことについては、A班の意見と同様、小学校や中学校、高校生も含めて、将来の三郷像について意見交換するのもひとつではないかと思う。三郷小学校、同級会や同窓会などに、興味を持って三郷区に住み続けていける、引き止めていける情報を地域協議会でも発信し続けていかななくてはならないという意見も出た。三郷区の委員が、町内会長連絡協議会と基礎となる共通認識を持っていかななくてはならないので、町内会や委員との勉強会のようなことも行っていけばいいという話も出た。また、西松野木町内と四ツ屋町内では、春駒という無形民俗文化財がある。だんだん踊り手や歌い手がいなくなっているのので、そういった文化財的な団体との交流や意見交換を行って、保存に対して我々委員が一役買えるようなことをやっていきたいという意見も出た。では、次にC班に発表を求める。

【伊藤副会長】

C班でも、大体似ている意見が多かった。高齢化が進み、町内行事がなかなかできないところも出てきているようである。高齢化社会にどうやって向き合っていくかということが一番課題として出てきたので、前期でも課題に挙がっていたと思うが、またそれを継続できればとの声もあった。また、この公民館については、耐震の問題などがあり、それをどう解決していったらいいかという問題も意見に出た。ほかに、三郷区はやはり農業が魅力的であるので、農業の担い手をどう育てていく

かという課題もあるかと思う。また、三郷区で運動会や夏祭り等のイベントがあるが、もっと小さい規模のイベントを開いて、世代間交流を行ってはどうか。できるだけ行事を多くして地域の活性化を目指したほうがいいのではないかとの意見が出た。地域協議会で行いたいことについては、町内会長やいろいろな団体との意見交換を通じて、その中でまた、地域の課題等を見つけていきたいという意見が出た。

【竹内会長】

次回以降の会議で、今回出された意見を基に、課題抽出に向けて地域協議会で何を行うか協議していきたいと思う。なお、本日出された意見は、正副会長と事務局でまとめて皆さんにお示しする。

全体を通して意見等のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

今日、全委員で地域課題だということグループに分かれて話し合った。これから自分たちの足元、自分たちの土俵、要するに三郷区の実態や現状、これをやはり我々委員12人全員がきっちりと把握をして、自ら学んで勉強して、それを踏まえた上で、次の方策なりを考えていけるかと思う。そういうことで、足並みをそろえるための勉強会、地域の実態を知るための学習会は必要だと思うし、ぜひやって欲しいと思う。

【竹内会長】

今の意見についてはまた協議しながら、調整していきたいと思う。

—次第5事務連絡—

【竹内会長】

次第5事務連絡について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・次回会議：11月10日（火）午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・地域活動支援事業（変更申請）報告：

令和2年度地域活動支援事業の当初募集分の事業で、提案団体である三郷体育振

興会から、9月29日付で市へ変更申請があった。いきいき健康ウォーク事業とウインターフェスティバル事業について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初バスを借り上げて遠いところへ行く予定でいたが、徒歩で行ける行き先に変更するとの内容である。それに伴い、事業費が少額となったため、提案団体の自主財源で賄うことが可能と判断し、地域活動支援事業費補助金の交付は辞退するとの申請であった。これにより、地域活動支援事業費補助金の予算は23万6千円が残額となる。団体の申請により変更を承認したので、報告する。

・当日配布資料：

令和2年度地域活動支援事業（三郷区）主な活動等予定表〔10月、11月、12月〕

ウイズじょうえつからのおたより

まちづくり市民大学からの案内チラシ

【竹内会長】

ただいまの事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

今、地域活動支援事業の当初決定分について減額の申請の承認をしたとの報告があったが、資料が手元にない。一方で減額の採択をして、一方で減額の申請が来たらそれを認めるということなのか。それをこの場で決めるということなのか。よくわからない。というのも、前回、追加募集分を審査・採択した際、予算額を上回っており、減額採択した。そういうふうにした事業がある。かと思えば、0円という報告がある。この辺の考え方の整理がつかないので、説明してほしい。

【竹内会長】

申請のタイミングによる日付の関係もあると思うが、事務局どうか。

【田中主任】

このたび変更申請のあった事業の資料は、次回お示しする。資料No.1の予算残額が0円となっているのは、内定段階での資料である。この時点ではまだ変更の申請がないため、内定の報告としては予算残額0円という報告になる。その後、9月29日付けで変更申請があり、最終的に予算残額が23万6千円になったという報告

になる。

【竹内会長】

もう1点の質問、辞退ということで、これは委員として協議などはどうなるのか。

【田中主任】

変更申請の承認の決定は、書類や聞き取りなどにより、提案団体に十分確認した上で市長が行うこととしており、地域協議会へは事後に報告を行うこととなっているため、本日報告したものである。ただ、事業内容が採択された時点と大幅に変更となり、事業の目的、達成、効果などに影響があると考えられる場合は、地域協議会に協議することとなっている。今回は行き先を変えただけで、事業そのものは実施されるため、事後報告とした。

【竹内会長】

事業は行うが、地域活動支援事業の補助金は使わなくなったという申請であり、地域協議会としては判断する内容は無いということである。

【平田伸一委員】

地域活動支援事業の補助額の決定については、誰がいつ行うのか。今回その変更は誰がどういう形で承認したのか。

【田中主任】

補助金の交付決定は、市長が行う。また、変更の承認も市長が行う。

【平田伸一委員】

我々委員は審査するだけということか。額の決定はもちろん市の予算なので、市長が決定するのは当然である。では委員の役割としては、提案事業の中身を審査しただけということになるのか。

【田中主任】

市長はそれぞれの地域自治区の委員の皆さんの採択の結果を踏まえて、採択事業を内定するものとしているので、委員の皆さんが採択した内容が内定の基となっている。

【竹内会長】

他に質問のある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。